

「重信川かすみの森公園のかわまちづくり活動と スラックラインジュニアカップ」 事業報告書

一般社団法人 日本スラックライン連盟 愛媛支部

令和元年11月24日(日)、東温市かすみの森スラックラインパークにて、
「第1回東温市長杯 かすみの森スラックラインパーク ロングライン大会」を開催しました。

かすみの森スラックラインパークは、国土交通省「かわまちづくり」支援制度への登録を受け、重信川河川敷に日本で初めて整備されたスラックライン専用パーク。スラックラインのスポーツとしての将来性や健康への効果の高さとは裏腹に、スラックラインを行える場所が少ないことを苦慮していた弊社、日本スラックライン連盟愛媛支部の思いに、河川空間を活用した賑わい創出を目指す東温市が賛同していただき、連携することで日本初のパークが完成しました。

パーク完成後は、この場所を利用したスラックラインの体験会を毎月第1日曜に定期的に行うと共に、各種イベントを通したスラックライン及びパークの普及を行い、徐々にプライベートの利用者も増えてきていました。この大会は、パーク完成を記念した第1回の大会であるとともに、体験会やパークでの練習を通して上達してきた愛好家たちが自分たちの実力を発揮できる機会とも言えるものでした。

当日に向け、県内はもちろん県外からの出場者も増えてくるにつれ、大きな賑わいと大会の接戦も予想されてきました。



当日は、心配されていた天候も午前中はどうにか持ちこたえることができ、無事開催することができました。当日欠席があったため、出場者は49名。家族も入れると150名近くの方でスラックラインパークが賑わいました。

このスラックラインパーク建設に当たっても監修に携わっていただいた、元スラックライン世界チャンピオンの大杉徹さんも招致し、パフォーマンスを披露していただきました。貴重な機会とあって、サインをもらったり、写真と一緒に撮ってもらったり、また技術についての話もすることができたりなど、愛好家たちの沸く様子も見られました。

開催に当たっては、地元自治体を始め、東温市を拠点とする企業さまにも多く協力をいただき、また怪我もなく、無事に終了することができました。今後もスラックラインというスポーツとパークの利用を通じて、川のある生活と自然の大切さに親しみ、水辺の環境を守っていける活動を継続していきたいと思っています。